

半導体漫遊記

83

湯之上隆

世界半導体市場の推移は、1995年のWindows 95発売と2000年のITバブルを境界として、次の三つの時期に分けることができる(図1)。

第1期は、日米欧など先進国がけん引し、年率10~15%で成長してきた95年までの時代。

第2期は、その成長が停滞した95~00年の5年間。00年のピークは特異点として無視する。

第3期は、ITバブルが崩壊した01年以降、アジアの新興国が経済発展を遂げること

により、再び、5~7%で成長を始めた時代。

停滞した95~00年の間も順調に増大していたことが分かる。

一方、平均販売価格が95年をピークとして大きく下落する。98年から00年にかけてやや持ち直すものの、その後また大きく下落する。

2期に半導体市場の成長が止まったのが長らくの謎であった。その謎が、最近やっと解明できた。それは次の通りである。

半導体出荷個数と平均販売価格の推移を図2に示す。半導体出荷個数は、半導体市場が

世界半導体の出荷数推移

毎年250億個ずつ増加

2期に半導体市場の成長が止まったのが長らくの謎であった。その謎が、最近やっと解明できた。それは次の通りである。

半導体出荷個数と平均販売価格の推移を図2に示す。半導体出荷個数は、半導体市場が

2期に半導体市場の成長が止まったのが長らくの謎であった。その謎が、最近やっと解明できた。それは次の通りである。

半導体出荷個数と平均販売価格の推移を図2に示す。半導体出荷個数は、半導体市場が

と予測したこととも、ほぼ符合する。

私は、半導体が一般汎用技術になったと考

えていいる。一般汎用技術とは、産業横断的に使用され、さまざまな用途に使用し得る技術のことである。一般汎用技術の具体例と

しては、電力・電気、鉄道、自動車がある。さらに、PC、スマホ、携帯電話、インターネットな半導体も一般汎用技術の一つになったと言え

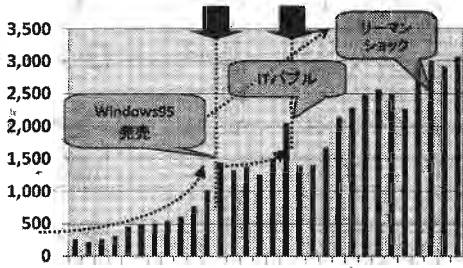


図1 世界半導体市場の推移

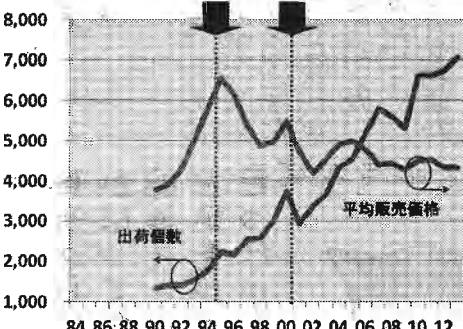


図2 半導体出荷個数及び平均販売価格の推移(ドル)

出所: WSTS および Morgan Stanley のデータを基に筆者作成)